



故 宮 澤 正 典 先生

宮澤正典先生（2018年4月5日永眠，84歳）

▷略 歴◁

1933年12月16日	出生
1956年3月	同志社大学文学部文化学科文化史学専攻卒業
1959年3月	同志社大学大学院文化研究科文化史学専攻修士課程卒業
1959年4月	同志社女子中高等学校教諭
1984年4月	同志社女子大学教授
1989年4月～1991年3月	同志社女子大学総合文化研究所長
2004年3月	定年退職
2004年4月	同志社女子大学名誉教授

▷学位◁

文学士（同志社大学）、文学修士（同志社大学）

▷主な担当科目◁

生活文化史、人間生活基礎研究、近代日本と同志社、演習、卒業論文

▷所属学会◁

文化史学会、日本西洋史学会、史学会、日本イスラエル文化研究会、日本歴史学協会

## 宮澤正典先生を偲んで

2018年4月5日、宮澤正典先生は少しばかり早足に地上での歩みを終えて旅立ちました。昨年末に京田辺にて新聞を読みふける先生にお目にかかったのが最後でした。あの優しさに満ちた笑顔の先生にいつでもお会いできると思い込んでいました。先生を偲ぶ寄稿に適任の方が沢山居られると拝察しますが、宮本会長からの後押しもあり、謹んでお受けしました。

さて、宮澤先生とお出会いは15年近く前に遡ります。2003年に宮澤先生が生活科学会会長の際、当方は本学へ着任しました。同年度末に先生は特別任用教授としてのお働きを満了されました。学部や学科の会議、史料室関係の会議での同席の機会が多々あったと記憶しています。その後も法人内の研究会でお交わりを許されました。

先生は同志社女子中学高等学校教諭としてのお働きを経て、本学助教授、教授としてご活躍されました。とくに本学部においては、生活文化史研究室にて学生指導を始め、教育・研究活動に従事されました。その間、文化史学会評議員、日本イスラエル文化研究会理事を始め学会活動においても多大な貢献を残されました。いかなる時も先生は多数の流れに任せるようなことはなく、常に誠実かつ謙虚に事象と対峙し、本質を見極めた確なご指摘をされました。とくに文化史研究への熱意と歴史事象への厳正な姿勢に感銘を受けました。一次資料探求の忍耐力と資料分析の洞察力には敬服させられました。

物腰が柔らかく穏やかな人柄を通し、多くの方が励まされたことと思います。僭越ながら、私もその一人です。ご卒業生を始め、先生とお出合いを赦された方々の中に、今も先生のお姿が生きつづけていることと確信しております。

宮澤正典先生の甚大なるお働きに感謝すると共に、先生ならびご家族の皆さま上に慰めと平安をお祈りいたします。

生活科学部教員 小崎 眞